

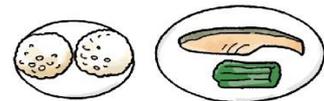
★うちのひとといっしょに読みましょう。

あけましておめでとうございます。新年をむかえました。みなさんはどんな冬休みをすごしていましたか？さて、1月24日から30日までは、全国学校給食週間です。いつも食べている給食に目を向けて、給食の役割について考えてみましょう。

## 今月は全国学校給食週間があります

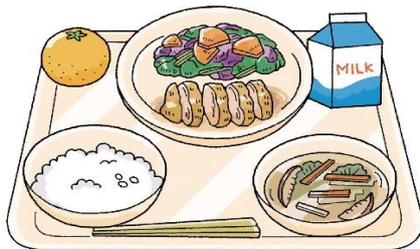
全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割などについて多くの方に知ってもらい、学校給食の充実と発展を図ることを目的として定められました。日本の学校給食の起源は、明治22年に貧困児を対象に昼食を無償で提供したものであるといわれています。献立は、おにぎり、塩さけ、菜の漬物だったそうです。現在の学校給食は、栄養バランスのとれた豊かな献立で、子どもたちの健康や成長を支えています。また、地域の地場産物や食文化なども学ぶことができます。感謝をしながら食べましょう。

明治22年の献立



おにぎり、塩さけ、菜の漬物

### 給食は生きた教材



給食の時間では、準備から片づけの実際の活動をくりかえし行うことで、望ましい食習慣と食に関する実践力を身につけることができます。

22日～26日の給食では、人気給食、給食委員会

が考えてくれたお楽しみ給食や宮っ子ランチなどがあります！

そして、26日には、星が丘中学校の3年生が

「寒さに負けず かげにも負けず 今日から僕たち健康だ！」

というテーマで考えてくれたメニューの提供を予定しています。

お楽しみに！！

### 保護者の皆様へ

おにぎりの日に続き、お弁当の日も大変お世話になりました。子供たちは朝からいつもよりソワソワ、ワクワクしているように感じました。「今日〇〇を自分で作ったよ！」「私はお母さんと一緒に買い物行ってきたよ！」「いつもより30分早く自分で起きて頑張ったよ！」と目をキラキラ輝かせていろいろ教えてくれました。

自分で出来ることが増えると「自信」や「思いやり」「感謝」の気持ちが自然と育っていくように感じます。

ぜひ、お子様たちの「できた！」「頑張った！！」をたくさんほめてあげてください。

朝のお忙しい中、ご協力ありがとうございます。



